

開催ブロック	近畿ブロック
日時	2024年1月20日(土) 14時~17時30分
趣旨・目的	「落語」から学ぶ笑いとコミュニケーション
会場	神戸新開地「喜楽館」・ミナエンタウン KeyWest
スケジュール	14時~16時20分 「喜楽館」昼席鑑賞 16時45分~17時45分 KeyWestにてミニ講座
参加者数	9名
内容紹介	<p>新開地喜楽館昼席鑑賞 14:00~16:20</p> <p>前座は月亭柳正 桂 弥壱・桂阿か枝・立山センター・オーバー(漫才)・霧の吉次 仲入り 月亭方正・桂弥太郎・桂春蝶</p> <p>2階席のセンター席を8席前売りで購入。当日券も1枚追加して、2階席から鑑賞した。</p> <p>16:45~17:45 からのミナエンタウン KeyWest のマスター 耕笑園てつや氏のミニ講座8名参加 高齢者施設で「ユーモアセラピスト」と称して利用者さんを笑わせている</p> <p>ライブハウスのマスター。自己紹介は、そこに集まるアマチュアのみinnで数年前作った「ミナエン少年」という自主製作映画をつかってはじまったが、それがこの新世界の街の文化、29年前の阪神淡路大震災のエピソードにもなっていた。ミニ講座では、喜楽館の落語を聴いてきた私たちに、落語やお笑いで使う脳とレクリエーションに参加して笑って楽しい脳は どうやら違うらしいという話と軽く参加メンバーの先生方に2つほど簡単な集団レクもふって、笑って、さすがだった。</p> <p>情報交換会 参加者名の横星印のある先生が参加し、1週間前に終わった土日の「共通テスト業務」のことや、各大学のレクリエーションカリキュラム事情等が活発に話せた。</p>
所感	<p>元旦から能登半島に大地震がおこった2024年のはじまりであったが、こんなときであるからこそ、新開地喜楽館でお昼から上質の落語を聴く機会ができていろんな状況を忘れて、笑うことができた。これは、普段レク教育やレク実践に携わっている私たちを癒す、リフレッシュの時間になったと思えた。</p> <p>また、時間より早く来てくださった課程認定校の先生方は、短い時間で新開地の街の喫茶店に足をのばされたり、面白そうだからと新開地の街の探索も単独でもしていただき、その行動力はさすがだと感じた。</p>



神戸唯一文化芸術の殿堂

絵 西島よし

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

— 上方落語の定席 —
神戸唯一文化芸能の殿堂